

## 日本木工機械展 / ウッドエコテック 2017 (一社) 日本木工機械工業会

日本木工機械展 / ウッドエコテック 2017 が 10 月 27 日から 30 日までの 4 日間、愛知県名古屋市港区のポートメッセなごやの第 2・第 3 展示館、屋外展示場を会場に開催される。開催を直前に控え、主催者である (一社) 日本木工機械工業会 (愛知県名古屋市) の井本希孝理事長は企画内容について次のように語った。

今回のウッドエコテック 2017 には 141 の企業・団体が参加します。会場となるポートメッセなごやの 3 号館は木材加工機の展示で占められ、2 号館では初の試みとなる「ウッドワンダーランド 2017」を企画しました。「ウッドワンダーランド」は木育をはじめとする様々な情報発信を行う場であり、一般消費者に向けて木の魅力を伝えていく企画を盛り込みました。

木工業界の中だけで「木は良い」と訴えても一般の消費者には伝わらない。木材がどの様に利用されて、どのような加工を要して製品となるのか、その製品がいかに使われていくのか、その情報発信をウッドワンダーランドとして考えました。

ウッドワンダーランドの展示テーマは、

- ①中・大規模建築物
- ②建築材料の木質化
- ③近未来の住宅
- ④木育

の 4 点。今回は国産の木製自動車が 3 台同時に登場します。昨年のウッドデザイン賞で最優秀賞を受賞したトヨタ自動車株の「セツナ (SETSUNA)」、佐田建美株の木製スーパーカー「真庭」、檜の間伐材を使用した公社の「木製カローラ」です。これら 3 台を集めて展示することは過去にありませんでした。

CLT のモニュメントは 2 号館の外に設置します。東京大学 5 月祭で使われた国産杉の CLT を展示し、CLT のゲートをくぐってから会場に入ってもらおうなっています。CLT は会場のステージにも使用し、講演会やイベントなどの舞台として活用します。

林野庁関係のコーナーでは、全木連や日合連などの展示があり、各方面の研究内容や活動の取り組みを紹介。大学の研究機関が取り組む最新の木質材料の開発



ウッドエコテック 2017 の概要を発表する井本理事長

内容をパネル展示し、学生による合板を使ったコンテストなども計画しています。新たなエネルギーとして注目される木質バイオマス関連も最新技術を展示します。近未来の住宅提案としては、岐阜県恵那市の金子建設工業株の省エネ自然住宅を紹介しします。

一般消費者に対して幅広く訴求できるように親子連れの来場者が楽しめる企画も盛り込みました。北海道旭川市の木製玩具メーカーの株ササキ工芸が製作する木製ゴム鉄砲の試射会、それとゴム鉄砲の工作教室と射的遊びを行い、子供にとって木に触れて楽しめる内容を取り入れています。近年、話題に挙がることの多いドローンの操縦体験、木製楽器やイリギターとディジュリドゥの演奏体験、プロ棋士による子供将棋大会など、体験型のイベントも数多く用意しています。会場内には巨大な迷路も設置して親子で遊んでもらえる